

学校訪問シリーズ 58

大分市立桃園小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「自他を認め合い、学力・体力を高め、より良く生きる子どもの育成」を達成するため、学校スローガンにあわせた【かしこくチーム】【やさしくチーム】【元気よくチーム】の3部会を中心に計画的に実践を行っています。

特に注目すべきは、「働き方改革」の意識調査結果です。

- 「仕事にやり甲斐を感じる」
- 「仕事を通じて成長できていると感じている」
- 「仕事以外の部分においておおむね満足できる時間が過ごさせている」
- 「職場では同僚間で気軽話しができる雰囲気にある」
- 「教材研究の時間が十分確保できている」

等の項目について、40歳未満と40歳以上で分析しています。単なる時間管理だけでなく働き甲斐について調査を行い、そこで課題になった教材研究の時間を確保するために、各学年部で具体的に仕事量や時間の削減を話し合い、道徳の担任交代や交換授業などを行っています。このように、働き方改革を学校経営や学年経営に活かす素晴らしい取組は、他の範となるものだと感じました。

授業から学ぶ

本校は、教職員の得意を活かし、学び合う実践的な研修を行うことで指導力をつけています。また、全学級において道徳の授業の記録を教室に掲示することを徹底しています。

どの授業も、聴く姿勢や待つ指導が行われているので、子ども達は安心して自分の思いを発言できていました。特に5年2組の算数では、友達の考えを説明する他者説明や、同じ考えの人や理解が深まった人を確認する指導は、本校の目指す「自他を大切にする」ための見事な実践だと感じました。ありがとうございました。



NO.358 2022年11月 大分市立桃園小学校

かしこく

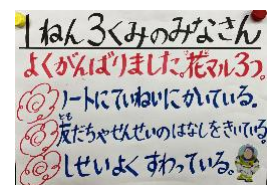
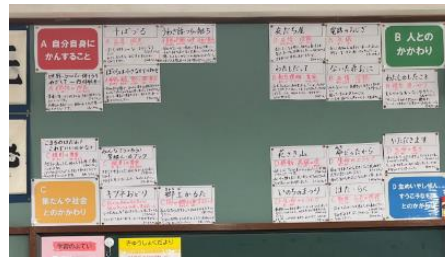
自分の考えを発言できるのは、真剣に聴いてくれる友達がいるから。学び合う集団だから。



NO.358 2022年11月 大分市立桃園小学校

やさしく

発言する人の方を向くのは、ルールだからではない。相手への優しさから。



NO.358 2022年11月 大分市立桃園小学校

つながる

タブレットは、自分と友達をつなげる道具。だから、相手をことを常に意識して使う。



NO.358 2022年11月 大分市立桃園小学校

試行錯誤

タブレットは、調べることや動かすことができる。いろいろと操作をしていると、新たな発見がある。



NO.358 2022年11月 大分市立桃園小学校

元気よく

みんなが前向きに学ぶから、自分の思いを発言できる。だから、授業中も元気に過ごせる。